

# 03. 職種について

## 生活支援員



事業所内での日常生活上の支援や、創作・生産活動の機会提供を行い、障害のある人の自立・社会参加・身体機能の維持などをサポートする。

## 介護職



障害のある人の自宅等での必要な介助や家事、外出時の移動の介助等を行い、住み慣れた地域で日常生活が送れるようにサポートする。

## 児童厚生員



児童館を利用する子どもたちの安全と健康を守りながら、遊びを通して、協調性や社会性・自主性を育むサポートや子育て家庭への支援を行う。

## 栄養士・調理師



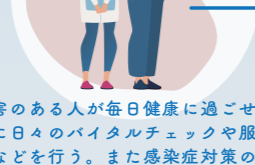
食生活に関する栄養指導や献立の作成・食材の発注など栄養・食事の管理指導や調理を行う。

## 相談員



障害のある人が自立した日常生活・社会生活を営めるよう、福祉サービスなどの利用計画の作成や全般的な相談支援を行う。

## 看護師



障害のある人が毎日健康に過ごせるように日々のバイタルチェックや服薬管理などを行う。また感染症対策のための情報提供や必要な指導も業務に含まれる。

## 経理・事務



福祉業務に関する請求業務や法人内の会計・労務事務などを行う。

## 世話人



グループホームで生活する人が日常生活を送れるよう、調理や掃除などの身の回りのサポートを行う。

# 04. 職員交流について

## 相談係（メンター制度）

職員がより働きやすい環境の中で力を発揮できるように、日常業務以外のことも気軽に相談できる先輩職員が新入職員一人ひとりにつく「相談係」という制度があります。 ※詳しくは4ページの対談をご覧ください。

## 職員レクリエーション委員会

部署や事業を超えた職員交流を推進する委員会です。職員交流の企画・実施（座談会・歓迎会・忘年会など）や、職員が計画したイベントやサークル活動のサポートをします。



# 入職案内

## Recruit Information



## 採用担当者より一言

法人本部 事務局長 宮崎一弥

採用担当者の宮崎と申します。

法人理念の冒頭に「私たちは一人ひとりの人間がその人らしく生き、大切にされ、お互い助け合って共に生きていける社会を目指しています。」とあります。ご利用者はもちろん、地域の方や職員を含め、それぞれが役割を持ちながら誰もが住みよい地域創りの一端を担っています。あなたを含め、そのような皆様を私たちは精一杯応援します。



### 宮崎さんの OFF

休日は家族中心の過ごし方になっています。釣りやキャンプ等のアウトドア系も好きですが、スーパー銭湯でのんびり一日過ごすことにはかなわないですね。良い仕事をしたいので、ONとOFFのバランスに気を付けています、と言えるように努めています。



### 法人概要

事業内容：福祉サービス（地域・児童・障害）  
設立：1962年（1995年社会福祉法人として認可）  
理事長：南大路文子  
統括責任者：土屋健弘

### お問い合わせ先

社会福祉法人西陣会法人本部事務局（宮崎）  
〒602-8464 京都市上京区元誓願寺通千本東入元四丁目430-2  
☎ 075-451-8971  
✉ nishijinkai@nishijin.org

詳しい求人情報は下記求人サイトをご覧ください



あなたとつながる

あなたがつながる

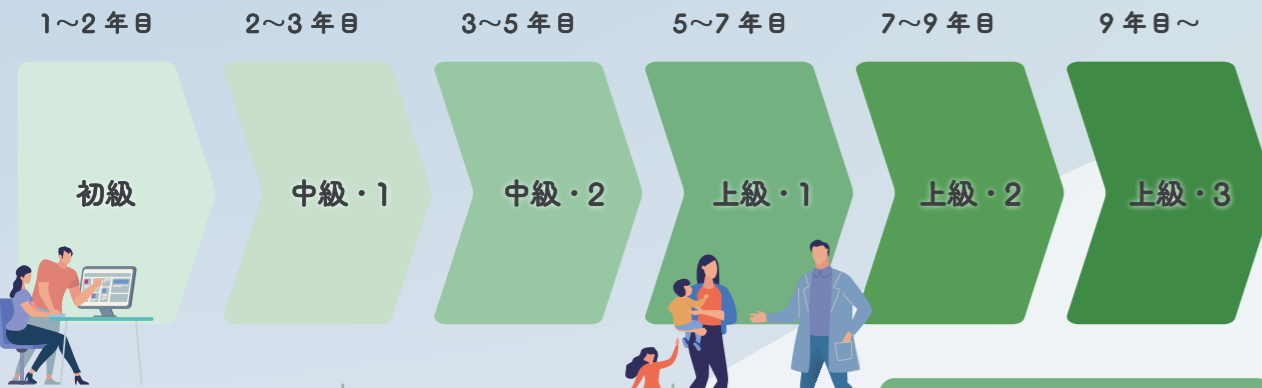


社会福祉法人  
西陣会



# 01. キャリアパス・人材育成計画

入社してから具体的にどのような能力を身につけキャリアアップしていくのか(キャリアパス)、またその能力を身につけるために必要な研修や資格は何か(人材育成計画)を策定し、自身の成長を「見える化」しています。



【研修】 ※太字は内部研修

新任職員研修 / 各部署見学  
ステップアップ研修①

ステップアップ研修②  
中堅職員研修  
OJT リーダー研修

巡回研修  
指導職研修

※左記以外にも求められる能力やそれぞれの目標に対応した研修が受けられるよう、一人一人に年間の研修計画を作成し、成長し続けることのできる環境を作っています。  
※下記の資格取得のためのサポートを行っています。

【取得が望ましい資格】

介護職員初任者研修  
ガイドヘルパー研修  
放課後児童支援員認定資格

強度行動障害支援者養成研修  
社会福祉士 介護福祉士  
精神保健福祉士 保育士

サービス管理責任者研修  
相談支援従事者研修  
社会福祉士実習指導者養成研修



人材育成に積極的に取り組む福祉事業所として京都府に認定されています。

# 02. 待遇について

年次有給休暇の取得を促進しています。

各種手当(通勤・資格・宿泊・深夜早朝勤務・特殊業務・運転など)が充実しています。

働きながら必要な資格を取得できるようにサポートします。

産休・育休・介護休暇制度あり

育児、介護を両立できる取り組みを実施しています。  
男性の育児休業取得実績もあります。

出産後職場復帰支援

休業中に広報誌の送付や各種案内を行った、復帰後の働き方についての面談を行った、出産後の職員が円滑に職場に復帰できるよう支援しています。



## 職員インタビュー 01 | 井上琴美

ディセンタ-ふらっと / 2019年入社



Q. 西陣会に入職を決めた理由は?

西陣会には大学の実習で来させてもらったという縁がありました。それと、就職活動の時に数か所事業所の見学に行ったんですが、場所が山奥だったり、周りに何も無い所が多くて・・・西陣会は地域の中にあることに魅力を感じて決めました。障害のある人って一般的に特別視されやすいと思うんですが、地域の中に事業所があることでそういう人に身近に会えて、「こういう人がいるんだな」と地域の人に知ってもらえる。それは障害のある人にとって生きやすい社会になるために良いことなんじゃないかな、と思います。

Q. この仕事のやりがいは?

利用者さんがここで一日を過ごすにあたって、笑顔で楽しそうに過ごして下さっているのを見るのが一番のやりがいです。「ありがとう」と言葉で伝えるのが難しい人もいますが、そういう人は笑顔で頷いてくださいます。そういうのを感じられると、この仕事をしてよかったなとすごく感じます。

Q. 仕事をしていて一番楽しい、と感じる瞬間は?

利用者さんとコミュニケーションを取ったりするのが楽しいです。ある利用者さんとはプライベートでの趣味が一緒ですごく盛り上がる時がたまにあるんです。ちなみに、ゲームの話とかです(笑)

Q. 仕事をする上で大切にしている事は?

利用者さんの言葉をよく聞いたり、行動や表情をよく見て、それぞれの方の変化にいち早く気付けるように、周りをよく見ることを大切にしています。

Q. この仕事に向いてる人ってどんな人だと思う?

聞き上手な人ですね。つついこっちも喋りたくなるんですが、「聞く」方が大切だと思います。



## 職員インタビュー 02 | 高田恵里

西陣会居宅サービス係 / 2012年入社

Q. 西陣会に入職を決めた理由は?

元々英語の学科にいて福祉とは別分野だったんですけど、教員免許の実習で福祉施設に行く機会があったり、留学先で障害のある人と関わりがあって福祉に興味を持ちました。それで西陣会の見学やボランティアに来た時に、職員の温かさや思いの強さにすごく引き込まれて、ここで働きたいな、ここが自分の居場所のようだな、と感じました。

Q. この仕事のやりがいは?

「ありがとう」と言ってもらえることがすごくやりがいに繋がります。また、利用者さんの楽しいことを一緒に共有させてもらったり、時にはちょっと悩んでいて辛い思いをされている時もありますが、私が聞くことで「少し気持ちが落ち着いた」と言ってもらえることがあってとても嬉しいです。

Q. 西陣会で働き続けているのはなぜ?

利用者さんやご家族から「ありがとう」「また来てね」と言われると辞められないです(笑)私、子どもがいるんですが、職場によっては子どもがいると役職を持ちにくい所もあるようですが、西陣会では責任のある仕事もさせてもらっています。子どものいる職員一人として大事に思ってもらっていると感じるので働き続けることが出来ていると思います。

Q. 出産や子育てをする上で職場の支援はある?

産休前は、「働きやすいように言ってくれたいよ」「早めに休んでくれてもいいよ」とすごく気遣ってもらったり、産休・育休についてよく分からないことがあると逐一教えて下さって、見通しを持って働きました。また、復帰後も「育児時間」を活用させてもらったり、どういう風に働きたいかを全部聞いてもらいました。育休中に子どもと2人きりの寂しい時間を過ごしていた時、法人の児童館に誘ってもらって幼児クラブに参加しました。自分がこの職員だということを忘れて交流が出来たことがすごく大きかったですし、娘のことを知ってもらえたので復帰した後も、「どうしてる?」と声をかけてもらえるのが今も支えになっています。法人内の先輩ママさん・パパさんにも相談に乗ってもらっています。



先輩  
対談  
後輩

—お互いの第一印象ってどうでした?

坂本 部署の上司から「湯川さんはすごく丁寧な人」「二人は合うんじゃないか」って事前に言われて、実際に会ったら、「あ、合いそうだな」って初回から思っていました。変に無理っぽいところとか、僕、そういうの好きなんです(笑)  
湯川 なんかつみません…(笑)  
坂本 いえいえ！僕もそうなんです。初回から色々にかけて下さって、見守られてるなって第一印象から思っていました。  
湯川 僕も坂本さんの事前情報を聞いて、経歴がやや似てるなって(※二人ともボランティアやアルバイトとして入職前から西陣会と関わりがあった)。最初から親近感が湧いていました。あと、彼自身が喋るのが得意なので、話しやすいな、面白いな、っていうのが第一印象です。

—お二人は部署は違いますが、福祉の世界で働いていることは共通していますよね。福祉で働くことの魅力や楽しさってなんだと思いますか?

坂本 人間たるもの、やっぱり人と関わりあって生きていくんですよ。人間って人の間で書くじゃないですか。世の中には自分の力ではなかなかうまく生きていけない人もいて、そういう人に寄り添うのが福祉なんですよ。その人の人生がより豊かになっていく過程を見るのも面白いですし、人を見ることによって自分を振り返る機会が毎日あるので、お互いに成長していけるのが福祉の魅力かな。とりわけ僕は児童館で働いているので、よりそう感じるのかもかもしれません。

湯川 それっぽいこと仰いますね(笑)  
坂本 本心ですよ!(笑)  
湯川 いや、すごく良かったから。

—湯川さんはどうですか?

湯川 僕は結構利己的な理由なんですけど、毎日刺激という変化が欲しいんです。まあ、僕自身は変化には弱いんですけど(笑)自分が目にするものには変化があって欲しい、みたいなのがあって、法学系とか心理系とか色々な分野を見ていて、その選択肢の一つに福祉があったんです。大学入って、ボランティアサークル入って、そのまま福祉に…って感じですかね。

—では、福祉の中でも西陣会で働くことの魅力を教えてください。

坂本 最近、ご利用者の家族が西陣会への思いをまとめてくださった冊子を読んだんですが、「西陣会の人是最後まで見守ってくれる」って何回も強調されています。そこが魅力ですかね。

湯川 こちらの都合を優先せず、ご利用者やご家族の希望に寄り添って快く応じる場が常にあるんですよ。それも「最後まで」ですね。あきらめずに取り組み続けるところはあると思います。多分そうやってご利用者と向き合ってきた中で色々なニーズが生まれて、今これだけの事業を展開しているんですよ。

—湯川さんも一年目の時は相談係の先輩がいましたよね。お互いにとって、相談係があるのとないのとでは違いはあったと思いますか?

坂本 僕は特にコロナ禍での入職で交流の機会がほとんどなかったんで、相談係があって良かったな、って本当に感じています。こんなに先輩職員と喋ることってないですからね。なかつたらちょっと悲しいです。

湯川 坂本さんのあまり悩みがないっていうのは実は当時の自分と似ていたんです。でもあの頃は一日中忙しくてバタバタしてたので、面談の30分や1時間は息抜きになってましたね。

西陣会には、職員がより働きやすい環境の中で力を発揮できるように、日常業務以外のことも気軽に相談できる先輩職員が新入職員一人ひとりにつく「相談係」という制度があります。今回は、相談係として出会い、一年間面談や様々な繋がりをもって来られたお二人にお話を伺いました。

—お二人は部署は違いますが、福祉の世界で働いていることは共通していますよね。福祉で働くことの魅力や楽しさってなんだと思いますか?

坂本 人間たるもの、やっぱり人と関わりあって生きていくんですよ。人間って人の間で書くじゃないですか。世の中には自分の力ではなかなかうまく生きていけない人もいて、そういう人に寄り添うのが福祉なんですよ。その人の人生がより豊かになっていく過程を見るのも面白いですし、人を見ることによって自分を振り返る機会が毎日あるので、お互いに成長していけるのが福祉の魅力かな。とりわけ僕は児童館で働いているので、よりそう感じるのかもかもしれません。

湯川 それっぽいこと仰いますね(笑)  
坂本 本心ですよ!(笑)  
湯川 いや、すごく良かったから。

—湯川さんは坂本さんがどんな先輩になると思いますか?

湯川 彼は僕より社会的なので、僕なんかより全然すごい人になると期待しています。

—いつか〇〇さんの相談係は坂本さんですって発表される日を楽しみにしています。

坂本 色々教えてください!

—今後、お二人が西陣会の職員としてどんな職員になっていきたいか、ビジョンを聞かせてください。

坂本 色々な人の中に入って、その場の雰囲気を作るのが僕の役割だと思っています。色々な人の会話を生んでいくのが自分には出ると思っていますし、それを他の人にも繋げていけるようになりたいな、ならなくちゃいけないなって思っています。それが自分の良さだと自負しています。

湯川 潤滑油になります!ってこと?  
坂本 僕は潤滑油になります!(笑)

—湯川さんはどうですか?

湯川 今後、世代ごと動くことへの意識がアップデートされていくと思うんですが、それに遅れないようにしたいですね。自分が受けた指導をこうしてきかからってそのまま引き継ぐんじゃないって、常に疑問を持ちながら、より良いものを選んでいるような職員になれたらいいなって思っています。

坂本 もう実際に湯川さんはやりますよな。

—では最後は、お互いに向けて何か一言、どうぞ!

坂本 これまで伝えたいことは全部伝えたいので、一年間ありがとうございました!またラーメン食べに行きましょう!  
湯川 相談係が終わっても僕のことは忘れなくてください(笑)  
坂本 えー!

湯川 今のは冗談で(笑)相談係の面談は終わっても、関係性は続いて、お互い気にかけていきたいなって思ってます!

坂本 はい!ありがとうございます!

—坂本さんは今後、相談係の先輩側の立場になる時が来るんじゃないかな、と思います。その時に後輩にとってどんな存在になりたいですか?

坂本 湯川さんとこの一年やってきて、あまり悩みはなかったんですけど、それでも気軽に喋れる先輩がいるのってすごくいいな、過ごしやすくなって思ったんです。だから、湯川さんのような先輩になりたいなって思っています!

湯川 僕の話をしているとは思えないですね(笑)  
坂本 そんなことないですよ!本当に細やかで、すれ違う時とかに「元気?」って声かけてくれる、その一言でも嬉しかったりするんで、それこそ後輩を見守ってあげる、そんな先輩になりたいです。

—湯川さんは坂本さんがどんな先輩になると思いますか?

湯川 彼は僕より社会的なので、僕なんかより全然すごい人になると期待しています。

—いつか〇〇さんの相談係は坂本さんですって発表される日を楽しみにしています。

坂本 色々教えてください!

—今後、お二人が西陣会の職員としてどんな職員になっていきたいか、ビジョンを聞かせてください。

坂本 色々な人の中に入って、その場の雰囲気を作るのが僕の役割だと思っています。色々な人の会話を生んでいくのが自分には出ると思っていますし、それを他の人にも繋げていけるようになりたいな、ならなくちゃいけないなって思っています。それが自分の良さだと自負しています。

湯川 潤滑油になります!ってこと?  
坂本 僕は潤滑油になります!(笑)

—湯川さんはどうですか?

湯川 今後、世代ごと動くことへの意識がアップデートされていくと思うんですが、それに遅れないようにしたいですね。自分が受けた指導をこうしてきかからってそのまま引き継ぐんじゃないって、常に疑問を持ちながら、より良いものを選んでいるような職員になれたらいいなって思っています。

坂本 もう実際に湯川さんはやりますよな。